

陳情第6号

議会を無視し、行政と公教育への強い不信を招く「若草中学校区新小学校開校準備委員会」の名による『新しい小学校の校名募集』行為に厳しく抗議し、是正を求める陳情書

令和7年11月27日受理

陳情者



鼓阪を守る会

共同代表 田 村 勝 外2名

令和7年（2025年）9月、佐保・鼓阪地区内で同上の「若草中学校区新小学校開校準備委員会」会長岡崎忠直、副会長平野康隆、皿木博幸（佐保小学校長）、吉元祐介（鼓阪小学校長）による「新しい小学校」の校名募集の案内が行われました。

しかし、この「校名募集」については、鼓阪小学校の保護者会から「新小学校の名称募集は、地域住民との正確かつ十分な合意形成を前提とすべき」として現時点での募集は取りやめるよう北谷教育長に要望が出されています。

このようなもっとも重要な地域との合意形成がない中での一方的な名称募集行為に対しては、地域住民の中からも「いったいいつ統廃合は決まったのか」、「住民無視も甚だしいではないか」など強い怒りと不信の声が出ています。

今年3月の市議会定例会では、28日に、市長らによる市民の合意なき強引な行政運営に対し、市民に不安と不信を抱かせ地域の分断を招いており、猛省を促すなどとする問責決議案（副市長・教育長も対象）が提出され、賛成多数で可決されています。

そうした批判も受け、仲川市長は夏の市長選挙（7月20日投票）の選挙公約では「全員市長、奈良から始めるこれからの民主主義」、「ダイレクトに皆さんの意見を政策づくりに反映！」などを約束されたところです。

そうした中、令和7年9月5日の市議会定例会に提出の請願第1号「若草中学校区学校規模適正化計画についての合意形成の徹底等に関する請願（観光文教委員会付託）請願者、関 亜可里外1名」では、市議会の5会派の「内藤智司、宮池 明、佐野和則、北村拓哉、森田一成」議員が紹介議員となり、11月12日から審議が始まっています。その矢先に、まるで先走って、しかも佐保小・鼓阪小両校の校長までも名を連ね「校名募集」を行うなどは言語道断としか言いようがなく、断じて認められるものではありません。

以上のことから、私たちは貴議会に対し、下記の3点について厳格に対処されることを強く求めます。

記

1. 「若草中学校区新小学校開校準備委員会」が児童をはじめとする関係者や地域住民に早まった情報を流し、不信と怒りを招いていることに対し、「謝罪」させること。
2. この間行った「校名募集行為」を取り消させること。
3. 同上の「開校準備委員会」の活動を一旦停止・凍結させること。

以上